

常なる磐

つねなる いわ seasonⅢ
令和 4年 7月 20日(火)
通算 252号

◇ 見て学び、学んで感化し、感化して真似し、真似して力となる

タイル洗浄大作戦は、粛々かつ着実に進行中であるが、相手(コケ)もさるもの。右の写真は、洗浄後に新たに発生した新コケだ。

洗浄の仕方が甘く、目地に詰まっていたコケを十分に取り除くことができなかったことが原因で再繁殖したようだ。わずかに3週間程度の期間。

その間は雨も少なく、コケ繁殖には不適な環境であったのにもかかわらずだ。敵もさるもの。コケも生き抜くのに必死である。

そこで再水流噴射。若いコケだ。しかも培地も安定しておらず、サイクロン・ジェット水流により、あっという間に除去完了。【矯めるなら若木のうち】にである。




さて、話は変わるが、どうしても子供たちに伝えなかったことを、7月の月例朝会でやっと伝えることができた。「6年生発信の【つながる行動】」である。

手前味噌になるが、本校の6年生は本当に立派だ。下級生の手本となるべく真摯しんしに行動できる。しかも足並みを揃えて、協同的にできるところがいい。

言い換えるなら、「10個(人)の歯車がしっかりかみ合い、同時に動いて確実に力を伝達する」と喩たとえることができる。

歯車の大きさは大小様々で、その色合いも異なる。これがそれぞれの個性だ。それでも10枚の歯車が備える歯の大きさは同じで、だからこそ、しっかりかみ合うことができている。入学したての頃は、歯も様々であったろうが、6年の年月をかけて歯をかませ合うことで、ぶつかりあう余分な部分をそぎ落とし、歪みなく滑らかに歯車を回す「最上級生の歯」を作り出したのだろう。

そして素晴らしいのは、卒業生が学校を巣立ち、3月に最上級生となって以降、加速度的に歯車の回転力が力強くなったことにある。【責任の自覚ひようしゅつ】の表出である。

この「見えない力の表出」を我々教師よりも強く感じているのは、下級生だ。通学団のまとめ役として、放課にともに遊んでくれる優しい先輩として、委員会や縦割り活動でのけん引役を果たす心強い先輩として、下級生はいつも6年生の行動を見ている。【見て学び】、【見て真似る】。下級生にとって6年生は、生活する上での見本であり、最も分かりやすい「正解」なのである。だから下級生は【?】が付くことも真似るものだが、本校6年生が示すのは【】だから心強い。

「6年生の言動を真似る下級生」について、最も顕著な例を朝会の話で紹介した。

<以下、朝会の話の抜粋>

タイル掃除をされていて、うれしいことがあります。

それは、掃除をしている私の姿を見つけると、『ありがとうございます』と声をかけてくれることです。この言葉を聞くと、うれしい気持ちがわくと同時に、ほんとうに「すごいな」と思えます。

人は、自分にしてくれることならば、『ありがとうございます』は自然に言えます。けれども、タイル掃除は違います。みなさんがやることを、私が代わりにやっているわけではありません。私が勝手にやっているだけです。勝手にやっていることへの感謝ですから、声をかけてもらうとうれしくなります。

そして最近では、『ありがとうございます』と声をかけてくれる子が増えてきました。

ふりかえれば、最初に声をかけてくれたのは6年生でした。しかも6年生は、欠けることなく全員が声をかけてくれます。さすが最上級生、「すばらしい」です。

そして、さらに「すごい」と思ったのは、6年生がやり始めたことが、だんだんと広がっていることです。下級生は6年生をよく見ているんですね。6年生から5年生につながり、最近では4年生も声をかけてくれます。

つかれて、もうやめようかなと思う時に『ありがとうございます』と声をかけられると、体のなかに力がわいてきます。『ありがとう』には、そんな力があるんです。

<中略> 近所で、誰かのためでなくみんなのために働いている地域の方がいたら、知らない人でも、ぜひ『ありがとうございます』と声をかけてみてください。<後半に続く>

5年生の行動の変化は、6年生の言動を見て、感化されたものであろう。

6年生の姿から「見て学び」、「学んで感化」された。『いいことだ』『自分もやろう』と「感化されて真似」をした。そして上学年の言動に4年生が気付き、刺激を受けて感化され、行動がつながっていった。

この「目に見えない繋がり」がよい。実にすてきである。

さて、朝会での話の続きは以下のとおり。

<続き> 初めのうちは意識しないとできません。声が出ません。

でも、意識してやっていると、そのうち自然に声がかけられるようになります。意識しなくてもできるようになったら、【あたりまえ】です。

【あたりまえ】になれば、もう【本当の力】になっています。

6年生がはじめ、つながっていく『ありがとうございます』は、本当に素晴らしい「行い」です。みんなで大事にしていきましょう。

【おまけ】

朝会の同日のこと。小雨の中を作業していると、体育館に向かう1年生から一斉に『ありがとうございます』の声。加えてAさんからは『こんな雨の中をありがとうございます』。こんな洒落た言葉を知っているとは…これからが楽しみ。